

学生理解がしやすい“可視化された” 『Manage Life』の結果データ。 学生の自己分析・自己PR作成にも 役立つ。

ホンダ テクニカル カレッジ 関西

学務室 川添 学先生

ホンダテクニカルカレッジ関西は、本田技研工業株式会社が母体の学校法人ホンダ学園が運営する専修学校です。創設者および初代校長の本田宗一郎氏によって、1976年に創立されました。自動車大学校として、一級自動車研究開発学科（4年制）、自動車整備科（2年制）、自動車整備留学生科（3年制）の3学科を有し、“建学の志”のもと、世界に歓迎される真の技術者の育成を教育目標に掲げられています。

100年に一度と言われている自動車大変革期を迎えている現在、最新の技術の流れについていけるような、きめ細かな指導・サポートをされている川添先生に、『Manage Life (マネージ・ライフ)』の活用状況について伺いました。



『Manage Life (マネージ・ライフ)』はいつ頃
ご実施されましたか？
また、どのような目的で採択いただきましたか？

本校は、修業年限の異なる3学科がありますが、それぞれ、次の年に就職を迎える学生を対象として、6月～7月の間に実施しています。

実施の目的ですが、まずは学生が、客観的な自己分析ツールとして役立つことにありました。また、指導側にとっては、判定結果のシートが、可視化されていて理解しやすく、その都度アドバイスを行うのに分かりやすかった点が採択のポイントでした。

実施に際しては、学生とともに、各担任や私も『Manage Life』を受検しました。指導側も体験することで、検査への理解を深めることに役立ちました。

判定結果はどのように活用されましたか？

7月に、就職授業（3時間）の中で判定結果や資料を返却しました。

前半は、講義として、検査の趣旨、判定結果の見方、判定結果に出力される各特性の内容について説明を行いました。

後半は、付録のサポートツール「活用ブック」を活用した授業を行いました。各自が自分の判定結果を確認した後、判定結果内容を題材に過去を振り返ってもらい、「活用ブック」のワーク欄に、自分だけのエピソードを書かせました（例えば、得意なことを生かしたエピソード、苦手なことで困ったエピソード、等）。その後で、グループに分かれ、各自が順番に自分のエピソードを発表し、他のグループメンバーがコメントを返すというワークを行いました。グループワークの効果として、いろいろな感性を持った人がいるんだという他者理解、コメントを返すことによるコミュニケーション能力開発等につながり、社会性を身に付けることに役立ちました。

フリーな思考傾向 (5) **ハイパー活動傾向** (1)

フリーな思考傾向の特徴
決まり事にとらわれず臨機応変に行動できるようです。一方で、個人的な約束事やスケジュールの自己管理でうっかりしてしまうことがあるようです。大事なことをリマインドしてくれるツールの使用も考えましょう。

ハイパー活動傾向の特徴
無駄のない行動ができるようです。目標が拡散しないので、最後までやり遂げることができそうです。ただし、同時進行で幅広い活動をするのはあまり得意ではないかもしれません。

否定イメージ (4) **独立イメージ** (5)

関係に対しても価値観や感情を、3つの特性からアセスメントしています。

学生生活をよりよくするためのアドバイス

メッセージ
学生生活では気が散ることも多いかもしれませんが、人に合わせることも求められるかもしれません。得意な分野から取り組んでみることで、自信を積み重ねていくことが大切です。

将来に向けた成長のためのアドバイス

メッセージ
人付き合いが得意なことで、周囲からの期待も高くなるかもしれません。自分の強みを活かして、リーダーシップを発揮できるような役割を目指しましょう。

各特性の段階点を示すとともに、支援に役立つコメントを、さまざまな観点から提供します。

▲学生理解シート（学校用）

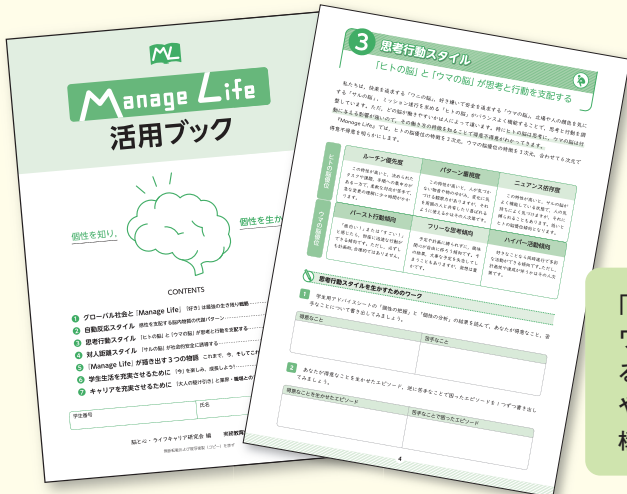
「アドバイスシート」を返却した際の反応はいかがでしたか？

受検者からは、「当たっている」という声が多く聞かれましたが、中には、指導側から「実際に見ている学生と、判定結果では少し違いがあるかな」という学生もいました。このような学生の中には、意欲が低く、指導の必要性を感じるケースもありました。このように、なかなか表面に出てこない学生の内面を浮かび上がらせてくれるのも、『Manage Life』実施のメリットかと思えます。

『Manage Life』実施後の先生方が感じられた手応え、ご感想をお聞かせください。

10月に、1時限の授業で、学生各自に自己PR文を作成させました。『Manage Life』の判定結果を基に、「活用ブック」のワークにある、小・中・高校の振り返りをさせた結果、自分の弱みや強みをしっかり把握した上で、自己PRを書けるようになりました。今までは、何を言っているのか分からない文章を書く学生が多かったのですが、『Manage Life』の実施後には、まとまった内容を書けるようになり、明らかに自己PRのレベルが上がったと、担任の先生方が効果を感じていました。

2023年9月取材



◀活用ブック（学生用）

「アドバイスシート」の理解を深めるためのワークブックです。シートの見方を解説する部分と、結果で示された個性を学生生活や将来に生かすためのワークを行う部分で構成されています。